

# 「法正有志提案」

本日行なわれよりとして、法政学部学生総会において、政府独自の大学に対するウエッジの具体的な表現としてある大学立法とその実質化としてある代助隊の導入と常駐体制の固執を明らかにして行く中で、市大の改革の前進があることを考へる。

主目的の学闘斗争の激発は、政府独自のによる内外にわたる帝国内主義的再編（自保の再編）核安保化、沖縄の再編、核付基地自由使用返還、台理化強化、四次防等の一貫として全目的規模をもって、大学に攻撃をなせられてきた本校の必然的帰結としてあった以上、反戦闘争として、全目的の斗争として行われねばならぬ。

## 「改組部同委員会」の設置

教員、学生、を言ひ、改革台同委員会を設置し、教育研究に関する基本問題（予算配分、カリキュラム改革、福利厚生、施設管理）を、取り場とせよ。この委員会での任意事項は必ず実行することを経記すると共に、学生の方からの要求があれば、上から応じることを経記させなければならぬ。

- 法政学部教授会を公認せよ
- 管理運営科構の公認を要求する
- 国交権、スト権を承認せよ
- 九月佐藤訪米阻止クーラス実行番を組織し、課是と基本戦

術の一致の下、全学生が行功の統一を実現する中で、大衆的決意を、なちとする。この目的は、四月自保斗争での大衆的決意は、四月自保斗争を文字どおり、量産し、もに上回る規模であった。

四月自保斗争の重要な環である佐藤訪米阻止の斗争を、大学、自保、沖縄の有機的連関（その反独自の性格）の中で、斗争（一）。

主目的斗争の武装ゲリラ斗争、民青、全支のセクト的分裂行動を拒否し、統一した学生隊列を実現しよう。

## ■市大の民主的改組■

- 学長、協設会は、①導入の自己批判をせよ。
- 改革台同委員の設置と任意事項の実行義務化、相互罷免権の承認を認めよ。

## □ 法政学部教授会を公認せよ

## □ スト権、団交権を認めよ

## ■ 九月斗争方針 ■

- 各クラスに佐藤訪米阻止斗争実行番を組織し、極左武装斗争、セクト的分裂行動を拒否した主目的の学友と連帯し、課是と基本戦術の一致に基く広範な民主勢力と連帯した斗争を展開しよう。
- 九月、十月、を授業放棄をもって決起し、自保、沖縄の巨大な斗争を前進せよ。